

教職課程 履修計画書

免許状を取得するまでの今後の履修計画について、できるだけ具体的に書くこと。

なお、現在、仕事を有している人は、仕事と履修の兼ね合い（仕事と履修が不可避の事情によりバッティングしてしまった際の対応など）について必ず記入すること。

氏名 明治 太郎

私は2026年度から2年間かけて、中学校・高等学校の「国語」の教員免許を下記の計画で取得予定です。

◆1年目

<教職専門科目>

国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、授業デザイン論（国語）A、授業デザイン論（国語）B、教育基礎論、教職入門、教育行政学、教育心理学、特別支援教育概論、教育課程論、道徳教育の理論と実践、特別活動論、教育実習Ⅰの13科目25単位を履修します。

これらの科目を修得することで、2年目に行う教育実習Ⅱ（現場実習）の前提条件を満たします。

また、特別支援教育概論を修得し、2年目に行う介護等体験の前提条件を満たします。

<大学が独自に設定する科目>

環境問題と社会教育、生涯学習概論、の2科目6単位を履修します。

<教科に関する科目>

国語学ⅠA、国語学ⅠB、日本文学史、批評理論の4科目8単位を履修します。

<教員免許法施行規則第66条の6に定める科目>

日本国憲法、English CommunicationⅠA、English CommunicationⅠB、ICTベーシックⅠの4科目6単位を履修します。

1年目については、以上の合計23科目45単位を修得します。

（書ききれない場合は、裏面に続けて記入してください。）

※ 履修計画書は、手書きの他、Wordによる作成も可とします。

※ Wordで作成する場合は、この用紙を使用せずに別紙にて提出していただいても結構ですが、別紙の書式は「A4判（縦）、横書き、縦40行×横40字」に設定し、1枚目の1行目は左詰で「教職課程履修計画書」と記入し、2行目に右詰で「氏名」を記入、3行目は空欄とし、履修計画の内容は4行目から記入してください。（受験番号欄、罫線等の記載は不要です。）

受験番号

記入例

氏名 明治太郎

◆2年目

<教職専門科目>

総合的な学習の時間の指導法、教育の方法と技術（ICTの活用含む）、生徒・進路指導論、教育相談の理論と方法、教育実習ⅡA、教職実践演習（中・高）の6科目14単位を履修します。

<教科に関する科目>

日本文学講義ⅠA、日本文学講義ⅠB、中国文学研究ⅠA、中国文学研究ⅠB、中国文学研究ⅡA、中国文学研究ⅡB、書道A、書道Bの8科目14単位を履修します。

2年目については、以上の14科目28単位を修得します。

また、一年目に前提条件及び事前に参加が必要な登録ガイダンス等に参加をしたうえで、教育実習及び介護等体験を2年目に行います。

なお、科目等履修生として教員免許状の取得を目指すにあたっては、仕事については9月末日で退職するため、秋学期については仕事と授業やガイダンス等がバッティングする心配はありません。

もしも、春学期中に仕事と授業やガイダンス等がバッティングした場合は、教員免許の取得を優先し、授業やガイダンスに参加できるよう日程を調整いたします。

以上の計画に基づき、2年間をかけて教員免許の取得を目指します。

以上